

学力定着状況調査の集計結果の概要

平成15年9月
小中学校課

昨年度、平成14年度前期までに各市町村（学校組合）教育委員会で実施された到達度把握検査結果の集計をした。今回は、平成14年度後期から15年度前期にかけて、各市町村（学校組合）教育委員会及び県立中学校で実施した検査について、14年度検査結果としてまとめ、分析をした。概要は以下のとおりである。（グラフ中の学年や年度は、検査を実施した学年・年度ではなく、検査内容を学習した学年・年度を表している。）

なお、今回も昨年までの集計と同様、最も採択率の高いCRTのデータを用いているが、中学校第3学年の学習内容の検査結果は、データ数が少ないため分析対象から除いている。

また、CRTが新学習指導要領版の問題になり、過去のデータとの厳密な比較にはならないため、この概要版では14年度結果の分析に限定している。しかし、別冊の【集計】には、昨年度までの分析と同様、全国通過率を1として本県得点率を指数化して推移を掲載し、大まかな傾向をみている。

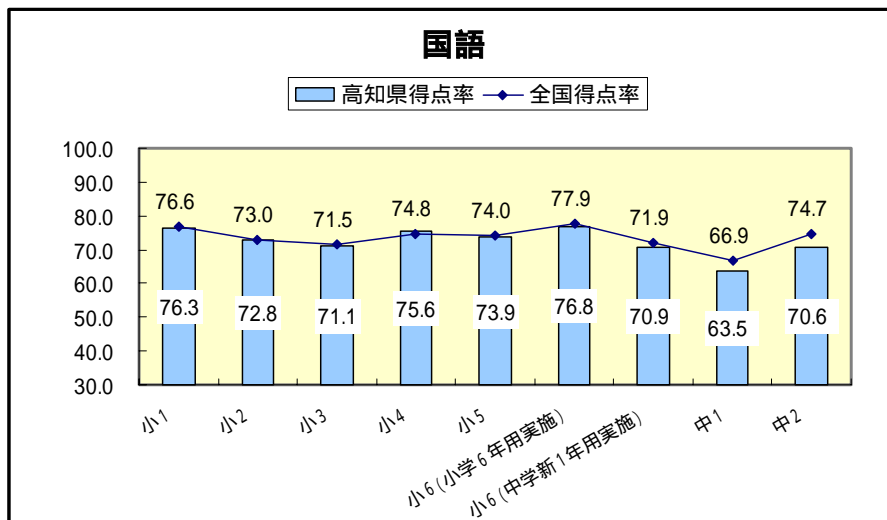
(1) 国語

教科総合については、小学校ではほぼ全国と同等。中学校は全国よりやや低い。（グラフ 参照）

領域別については、中学校で「書くこと」が他の領域と比べて低い。（表 参照）

教科総合評定分布率については、小学校では全国の分布とほぼ同等であるが、中学校では5段階評定の5の割合が全国と比べて小さく、3以下の評定の割合が大きくなっている。（グラフ 参照）

グラフ 国語 教科総合得点率



小学校第6学年は、14年度末に検査を実施した場合は「小学6年用」を、15年度1学期に実施した場合は「中学新1年用」を使用している。問題が異なるので、ここではまとめず別個に集計している。

<小6のデータ数内訳>

小学6年用 666

中学新1年用 4,812

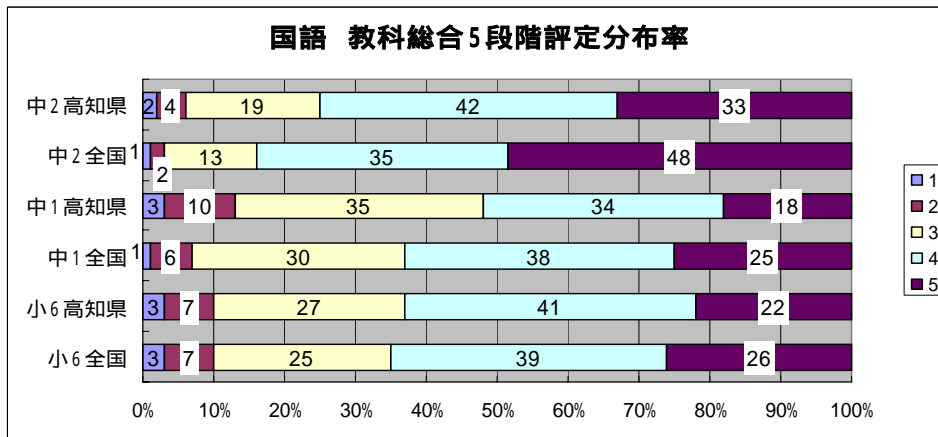
他の学年のデータ数は表参照

表 国語 高知県得点率指数（全国得点率を1としたときの高知県得点率）

実施検査の内容 学年(何年用の検査を実施したか)	実受検者数	高知県の教科総合得点率指数	観点別全体得点率指数				領域別全体得点率指数				
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
小第1学年	2,694	1.00	0.99	0.99	0.98	1.00	1.01	1.00	0.98	1.01	1.00
小第2学年	5,921	1.00	0.99	0.99	0.99	1.01	1.00	0.99	1.00	1.01	0.99
小第3学年	3,038	0.99	0.97	0.99	1.00	1.00	0.99	0.99	1.01	1.01	0.99
小第4学年	6,261	1.01	0.97	1.00	1.01	1.02	1.01	1.00	1.01	1.02	1.01
小第5学年	6,322	1.00	0.95	0.98	1.01	1.02	0.98	0.98	1.01	1.03	0.98
小第6学年()	5,478	0.99	0.92	0.99	0.96	0.99	1.01	0.99	0.97	0.99	1.01
中第1学年	5,417	0.95	0.86	0.95	0.95	0.95	0.96	0.95	0.95	0.95	0.96
中第2学年	5,779	0.95	0.92	0.96	0.90	0.97	0.96	0.96	0.90	0.97	0.96

指数化する場合は、小学第6学年は、小学6年用検査と中学新1年用検査をまとめている。以降同様。

グラフ 国語 教科総合評価分布率（「関心・意欲・態度」を除いた観点の総合評価）

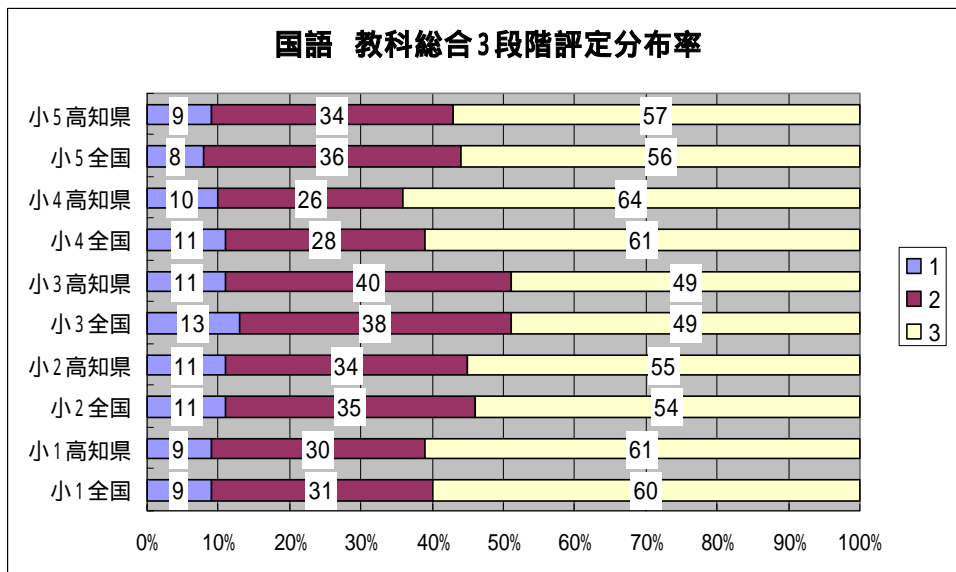


15年度前期に実施した検査結果のみの集計である。

小学校は3段階評価
3：十分満足
2：おおむね満足
1：努力を要する

中学校は5段階評価
中学校の4と5が小学校の3、1と2が小学校の1にあたる。

小6は新中学1年用結果のみを集計しているの
で、中学校の評価のしかたになっている。

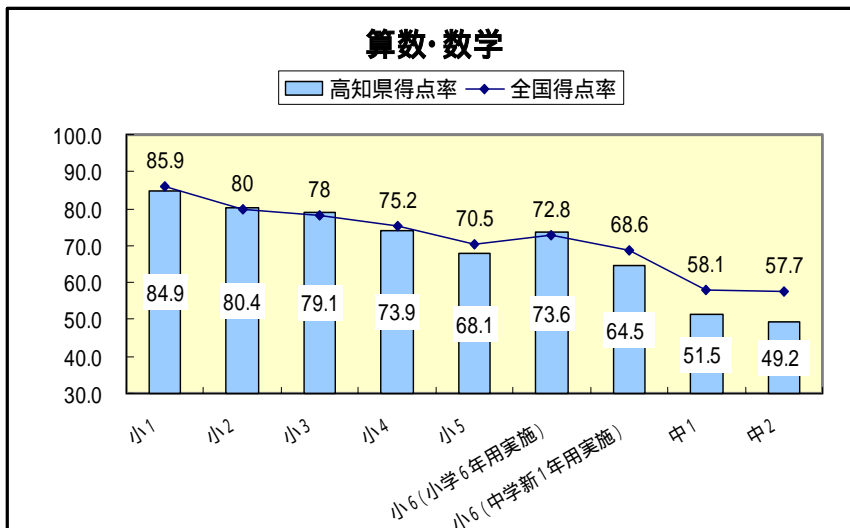


(2) 算数・数学

教科総合については、小学校第3学年までは全国より高い値を示しているが、第4学年以降全国より低くなり、学年が上がるに従ってその差が広がっている。（グラフ 参照）

観点別・領域別とも教科総合と同様の傾向を示している。領域別の「数量関係」では、特に中学校での落ち込みが大きい。（表 参照）

グラフ 算数・数学 教科総合得点率



<小6のデータ数内訳>
小学6年用 641
中学新1年用 4,838
他の学年のデータ数は表参照

表 算数・数学 高知県得点率指数（全国得点率を1としたときの高知県得点率）

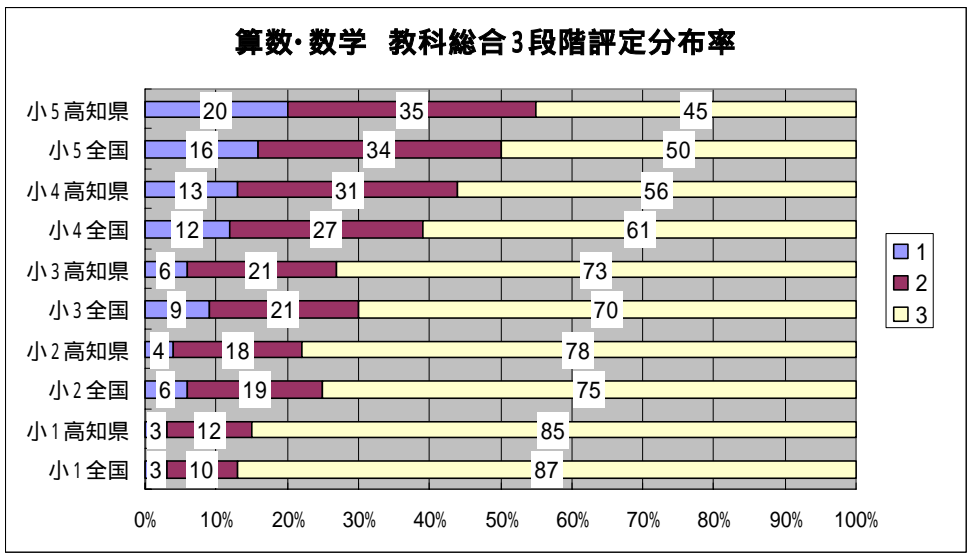
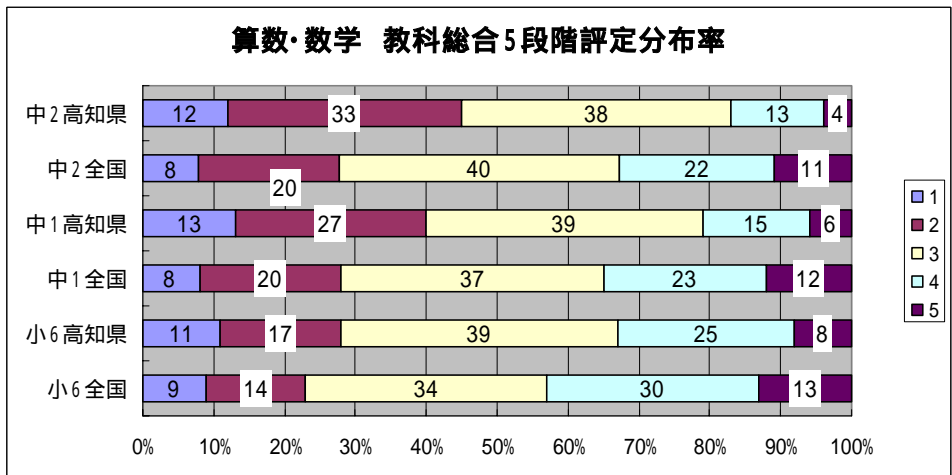
実施検査の内容 小学年(何年用の 検査を実施したか。)	実受検者数	高知県の教科 総合得点率指数	観点別全体得点率指数				領域別全体得点率指数			
			算数への 関心・意欲・態度	数学的な 見方や 考え方	数量や 図形につ いての表 現・処理	数量や 図形につ いての知 識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係
小第1学年	3,202	0.99	0.97	0.96	1.00	0.99	0.99	1.00		
小第2学年	6,426	1.00	0.99	0.94	1.02	1.05	1.02	1.03	0.98	
小第3学年	3,621	1.01	0.97	1.02	1.02	1.00	1.02	0.99	0.99	
小第4学年	6,669	0.98	0.95	0.98	1.03	0.94	1.02	0.96	1.00	
小第5学年	6,597	0.97	0.95	0.97	0.96	0.97	1.02	0.93	0.91	
小第6学年()	5,479	0.95	0.87	0.93	0.97	0.95	0.96	1.07	0.97	

実施検査の内容 中学年(何年用の 検査を実施したか。)	実受検者数	高知県の教科 総合得点率指数	観点別全体得点率指数				領域別全体得点率指数		
			数学への 関心・意欲・態度	数学的な 見方や 考え方	数量や 図形につ いての表 現・処理	数量や 図形につ いての知 識・理解	数と式	図形	数量関係
中第1学年	5,519	0.89	0.87	0.87	0.91	0.88	0.92	0.96	0.82
中第2学年	5,952	0.85	0.90	0.81	0.86	0.88	0.92	0.83	0.80

小学校第6学年は国語同様、2種類の検査結果をまとめているが、「量と測定」は小学6年用検査実施者(666名)のみのデータである。

教科総合評価分布率については、小学校第3学年までは、1の割合が全国以下であるが、小学校高学年で全国より大きくなっている。中学校では1と2の合計の割合が全国よりかなり大きい。(グラフ 参照)

グラフ 算数・数学 教科総合評価分布率(「関心・意欲・態度」を除いた観点の総合評価)



(3) 英語

教科総合、観点別、領域別とも、全国と比べてやや低い。その中で、観点別では、他と比べて「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」が高く、「表現の能力」が低い。領域では、他と比べて「聞くこと」が高く、「話すこと」「書くこと」が低い。(グラフ、表参照)

教科総合評定分布率については、第1学年から1と2の生徒の割合が大きく、そのまま第2学年にその傾向が続いている。(グラフ参照)

グラフ 英語 教科総合得点率

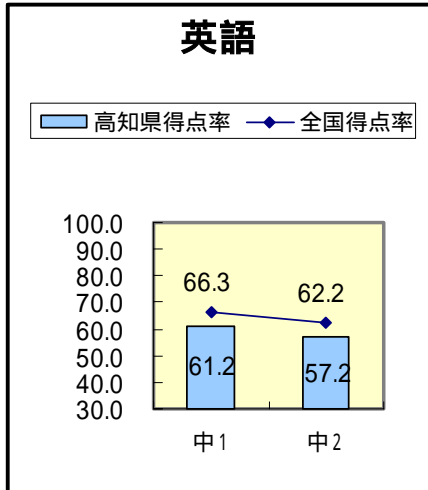


表 英語 高知県得点率指数(全国得点率を1としたときの高知県得点率)

実施検査の内容 学年(何年用の検査を実施したか。)	実受検者数	高知県の教科総合得点率指数	観点別全体得点率指数				領域別全体得点率指数			
			コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
中第1学年	5,421	0.92	0.89	0.90	0.93	0.94	0.97	0.92	0.93	0.92
中第2学年	5,823	0.92	0.94	0.88	0.94	0.94	0.97	0.91	0.95	0.88

グラフ 英語 教科総合評定分布率(「関心・意欲・態度」を除いた観点の総合評定)

